

学生ヒアリング 調査結果
(平成27年7月30日～31日実施)

基本情報				
学部・学年	工学部、医療工学科3年生	経済学部 3年生	東京農業大学短期大学 環境緑地学科(造園関係)1年生	文学部史学科(日本史、幕末～戦前の近代史) 2年生
出身地区・高校	鷹巣地区、南中―大館鳳鳴高校	阿仁地区―鷹巣地区 大阿仁小―鷹巣中―大館鳳鳴高校	阿仁前田(前田) 北鷹高校(農業科)	阿仁地区(比立内) 阿仁中―北鷹高校(普通科)
奨学金利用	有	有	有	無
調査項目				
進学理由	—	経済学部については、社会科が好きだったことと、就職率が良いという理由で選定。 また、場所についても東京を決めており、一回過ごしてみたいと感じていた。	北鷹高校の緑地環境科で専門的なことを勉強しており、将来はそれに関係した仕事に就きたいと思いり大学でも専攻することとした。	高校の先生からも就職について活かせないのではと言われたが、将来をそこまで考えて選んだ訳ではない。ただ、文章を書いたりするのは嫌いではなかったため、編集などの仕事が将来できればと思って志望した。
北秋田市の印象、感想	地元へ帰省した際には出歩くことは無い。自ら遊びにいくとあまり思わない。地元へ帰ってもやる事が無いという話は多い。 夏休み期間等に1月ほど帰省していて、北秋田市で塾のアルバイトをしているが、過ごし方としてはバイトして友達と飲みに行く程度である。特に何かあれば良いというものは無く、答えられない。買い物はそれほど頻繁にする訳でもない。 北秋田市や大館で遊ぶことはなく、車走らせて秋田市に行く等が多い。明日休みだから秋田市に行く等の状況であるので、秋田市のようになれば良いとは思っていると思う。	よく話になるのが、友人に秋田がどうかと聞かれて、1週間・1月住むのは良いとは思いますが、長期はどうかと思うと言っている。自然が良いと言っても、雪については一冬暮らすのも大変なので、良いとは思わない。 札幌も雪が多いとは思いますが、インフラがしっかりしていて、その方が良いとも思う。北秋田市では電車が2時間 に1本で、車が無いとどうしようもないし、どこにいくにも何時間がかかるかと厳しいと思う。電車の1時間と車の1時間の通勤は異なると思う。 東京に長く住むと疲れることと、寮の夏休みで食事もなくなるので、お盆近辺の1週間～2週間は実家に帰る。 帰省した際には、田沢湖・阿仁の運転程度に出かける程度。秋田には90分～2時間かかるので、車に乗り慣れていないので電車で行くことが多い。	住んでいた場所を撮影していた写真を見ると、すごい田舎に住んでいたと感じる。グーグルマップで見ても、山と山の間にまちがあるので、すごいところに住んでいたと思う。ただ、こちらはビルとビルで熱いし、地元はキレイだと思う。 ただ、雪が降るところが一番嫌なところ。 まわりの友人は秋田については田舎なイメージは持っていると思う。秋田には東京にあるこのお店が無いの、という話になることはある。 帰省した際には、高校の部活に行きたいという思いが強い。	生活するなら田舎の方が良いと感じる。内陸線に比べたら電車賃が安いので交通は東京が良いが、北秋田市でも自分の年なら車持っていたりもする。 また、大学の友達よりも、地元の高校までの友人の方が話しやすいところがある。 地元では川にいて、釣りじゃなくても、パーベキュー等をしたりすることも多い。
就職についての認識	<本人> 自分は院への進学を考えており、現時点で十分には調べられていない。将来的には、医療工学科関連として、機器の開発等の部門で働きたいと考えているが、少し調べた範囲では北秋田市内では見つからなかった。 ただ、東京にこだわる理由はそれほどない。地元でやりたい仕事ができるなら。 <地元友人> 地元に残っている人と話したときに聞いたのは、一回くらい仕事を変えていること。役場に就職した友人は違うが、会社に勤めている人は辞めていて変わっていた人が多い。理由として、一月働いて手取りが10万いくいかないかで、辛いと友人も言っていた。それほど多く欲しい訳ではないが、少なすぎるのも少し考えるということ。 東京から戻ってニプロに勤めている友人も、給与は高いが、立ちながらの作業であり、若いうちは良いがしんどいという話を聞いた。 <大学友人> この夏又は冬にインターンに行く友人はいる。今年から制度が変わって、4年生に入ってから就職活動なので、現在動いている友人は少ない。文系の友人は地元の市役所に入りたいという人は多い。しかし、そうでない場合は東京に残って働きたいという友人が多い。	<本人> 東京で働きたいと思っている。少しずつ就職活動はやっている。インフラ、サービス系を考えている。東京の方が仕事として選択肢が多い。関東圏が業種、仕事の選択肢の幅が広いから。 秋田市は北秋田市・大館と比べたりすると大きい、仙台で何とか、秋田は少し、という差があると思う。先に東京を見たので、秋田に戻るの、という印象。 希望する仕事が地元にあったら考えるかもしれないが、やりたい仕事があるとは思いにいくから、地元に戻ることは今は考えていない。もし、やりたい仕事があった場合には、選択肢の一つにはなり得るかと思う。 <友人> 秋田や他県の友人でも、地元へ帰る人は少ない。	<本人> 造園を勉強しているが、やりたいことは少し違うので、4年生大学に編入して、森林総合学科に行けたら行きたいと考えている。山や自然の知識を伝えて緑を増やすことの仕事をしたいと思っている。せっかく高校で学んで、大学でもそれに近いことを学んだことがあれば、ある知識を活かせればと考えている。これがやりたいということは明確には無いので、今までやってきたことを活かせればと考えている。 林業については、高校の時に授業で切って運ぶことを体験したが、厳しい仕事であった。機械があれば良いが、これを65歳まで続けるのは厳しいとは思った。どちらかといえば動かないで指示が出せるような仕事が良いなと思っている。自分がやるよりは伝えて、と思っている。 ゆくゆくは北秋田に戻ってきてても良いイメージはしている。4年生大学に編入して卒業した後には、秋田県庁に行きたいと思う。 <地元の友人> 地元の友人は半分は就職しており、ほぼ全て地元就職。知っている範囲では、就職で東京に出てきている人はいない。地元の就職先としては秋田土建や上小阿仁村の役場など。クラスが専門でもあったので、先生のつながりもあり、林業として事業体に行くことが多い。林業クラスは31名で、3分の1が林業や製造、県庁に就職。進学、専門学校は4、5人。残りがその他の業種に地元就職。	<本人> 自分も長男であり、母親は最初は東京で働いても良いとの話であるが、最初はという言葉がいずれは帰ってこいということと認識している。 東京での就職でも、地元就職の可能性もある。そもそも就職できるのかなという不安もある。祖父からは高校から大学進学ではなく、就職して公務員になればとかなり進められていた。 給与については、東京は高いと思うが、その分家賃も含めて使うと思うので、地元は給与が低いとしても大差が無いのではないと思う。 実家からは鷹巣まで行くにも車で1時間かかる。移動が嫌で鷹巣に住む友人もいるが、地元から流出しているように思える。そう考えると、極端に言えば、家で仕事ができ、週何日か本部に行く等ができれば良いかなとは思。阿仁で生まれたので、そこから出ていくのは、あまり意味が無いようにも感じる。ただ、仕事内容よりも住む方を重視して考えてしまうと、仕事の幅の選択がより限られてしまうので悩むところではある。 <大学友人> 学科では、将来に活かせるような内容ではないので、まわりは将来どうするかを考えて授業も、PC操作を覚える授業、SPIの授業等を選んでる友達が多い。簿記等の資格も取っている人もいる。 <地元友人> 進学で東京に来ている人はそれほど多くないが、父親がJAで働いているので帰って自分も働くという人もいる。 高校の野球部の友人は、上京して就職している人が多いが、いずれ帰るかについては、しばらくここにいるという人と5年程度いたら戻るという感じの人がいる。上京した理由は、東京への憧れや、好きなアーティストのライブに行きたいなどの理由である。
結婚・子育てのイメージ	結婚もしたいし子ども欲しいが、東京にいと、子どもができてから後の住む場所や部屋等を考えると、家賃が高いことがある。そういう面では地元の方が良いかなというイメージはある。	教育等のサービスに関しては秋田は良いと思う。地域の目が行き届く、小さいからいいと思う。地域が狭まっている状況だから、一人一人に目を配った教育はできていると思う。 となると子育ては東京は育てやすいなと思う。子どもの危険等も考えると、秋田の方が信頼はあるので。秋田で子どもは育てたいと思う。	結婚はしたいと思う。 環境については、東京よりは秋田の方が良いような印象はある。	結婚や子供は欲しいと思うが、お金がかかると考えてしまう。
行政に対する要望、意見	—	行政の範囲なのかわからないが、観光と言われることが多いが、まずは産業ではないか。大野台など市内に使っていない土地があるのではないか。企業の誘致など工業にまわしていくことができないのか。働く人が必要なので、近くに住むことになると思う。また、車で通う人もいとなると、車の便も大事。阿仁から鷹巣まで1時間かからなくなったので、道路は昔に比べれば本当に良くなったと思う。住みやすくなるための努力が必要。 最初に観光と言うイメージがある。北秋田で推し進める良い面はあると思うが、弱点も見つ方が良い。観光は飽きられて来なくなるのではないか。過去にアイリスもバター餅についても同様だったかと思う。スキー場もバブルで調子に乗って作っていたのではないかと。樹氷についても1回行けば良いと思うし、より行きやすいところに行こうとなるのではないかと。例えば温泉であれば草津等の行きやすいところに行くのでは。観光は強い相手は多いので、まずは産業を考えることかと思う。	高校の先生から聞いた話として、銀座通りがシャッター通りになっているが、昔は栄えていた話を聞いた。そこで、車を止める場所が無いので駐車場を作った方が良いという話を聞いた。お祭りもあったりするのでは、もっと人が来れるような場所にすればよいと聞いたことがある。	地元へ映画館が出来たとしてもクオリティが低かったら、弘前等に行くことになるのではないかと。それよりは移動が楽になった方が住むのではないかと。地元の人で遊ぶだけだと客が足りないと思うので、地元も楽しんでまわりから呼び込めないかと経営していけないのではないかと。
その他				
高校同窓会(東京鳳鳴会など)、ふるさと会の存在について	鳳鳴会については聞いたことはあるが、居住地を連絡できていないので招待状等が届いていない状況。	—	北鷹高校のOB会は聞いたことない。	—
大館能代空港や内陸線の利用状況	内陸線には乗ったことはない。 帰省の際には、深夜バスか、盛岡まで新幹線でその後大館までもバス移動。	角館にはいかなかったが、内陸線で以前は移動していた。しかし、鷹巣に来てからはほとんど乗らなかった。 内陸線については、秋田まで新幹線で移動して、その後JRとなると内陸線は必要性無い。内陸線の帰省チケットを調べたら時間は変わらない。料金もほとんど変わらないので、乗車券で最初から鷹巣となると、JRを使う。更にバス利用になるともっと使わない。 おばあちゃん内陸線を使っていたりしたが、車があった頃は車を使っていたし。 個人的には病院が大野台に移った影響が大きい。病院を送って帰るのでも一日かかる。内陸線を降りてからどうする、というのは高齢者にかかりの負担を感じる。そう考えると、内陸線が使いやすいのは鷹巣に行き程度だと思う。 阿仁マタギ、打当温泉に行くにしても歩くには距離もある。だとすると内陸線沿線は観光としても難しいのではないかと。観光に行くにしても、行きやすい田沢湖などにした方が良くいなるのではないかと。 以前は内陸線を盛り上げようと考えたが、結局使いづらいと仕方ないので、利便性を良くすることが一番。費用もあると思うので、投資が必要。	親の勤務先と近かったこともあり車で通学で、内陸線はほとんど乗らなかった。前田地区の友人は良く乗っていて、車で通学は少なかった。 東京にきて、対面式に座るよりも内陸線のボックスの方が良いと感じる。友達と乗るときも向いあって乗れるので。 帰省のときはバスで帰る予定。	高校時代は寮なので、内陸線はあまり利用していない。